

こうつうあんぜん 交通安全チェック

こうつうあんぜん

交通安全の「おやくそく」！

こうつうじ こぼうし

なつやす

交通事故防止で、たのしい夏休み！



神奈川県警察本部交通総務課では、
ツイッターで交通事故防止に役立つ
情報を発信しています。

交通総務課公式ツイッター



twitter @kpp_koutuu

① あかしんごう



あかしんごうは わたらない

② チカチカしんごう



あおの チカチカは わたらない

③ おうだんほびょう



いちど とまって てをあげて
みぎ ひだり みぎ

④ どうろあそび



どうろでは あそばない

⑤ とびだし



とびだしを しない

⑥ ヘルメット



じてんしゃに のるときは
ヘルメットをかぶる

神奈川県警察

休校などで、交通安全教育が行き届いていません。

ご家庭での交通安全指導をお願いします！

神奈川県警察

特性① ひとつの事に 夢中になる

「飛び出し」がいけないことは理解していても、道路の向こうに友達や家族がいると、周りの状況には目もくれず、つい飛び出してしまいます。



道路を渡るときは、
横断歩道を渡る
信号を守る

手をあげて安全確認をする
等、安全な行動が身につくように、
繰り返し教えましょう。

特性② 単純思考 抽象的な言葉では伝わらない

「手をあげる」「左右をみる」だけでは、子どもは理由まで理解できず、手の位置が低かったり、ただ漫然と首を振るだけになってしまいます。

「車の運転者に見えるように手をあげる」
「右や左から車が来ないか見る」
などと具体的に教えましょう。

子どもの特性を踏まえた指導をお願いします

- 子どもの目線で危険をチェック！
- 危険回避方法を具体的に指導
- 覚えるまで、何度も繰り返す



特性③ 大人に依存

子どもは、良いことも悪いことも大人のマネをします。

また、「大人がいれば安心」と判断し、安全確認などを大人任せにしてしまいがちです。



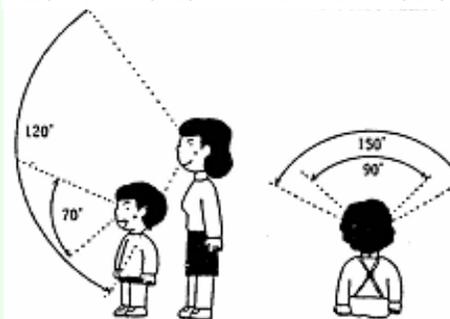
子どもと一緒に安全確認を行うことはもちろんですが、周囲の大人が、日ごろから交通ルールをしっかり守り、子どもの手本になりましょう。

大人には見通しの良い腰高の植え込みやガードレールも、子どもの身長では死角になります。見通しのよい場所で、顔をしっかり左右に振って安全確認をさせましょう。

特性④ 視界が狭い

子どもの視界は、大人の3分2程度といわれています。
安全確認をさせるときは、顔をしっかり振らせましょう。

垂直方向の視野 水平方向の視野



レジャーなどにより、短縮された夏休み期間に交通量の増加が予想されます。外出の際は十分に注意してください。